

13 . 里山と文化・伝統

代表 加藤賢三

遺跡からみた里山景観

シンポジウム：

日時 5月21日(土) 10:00 ~ 12:30

場所 我孫子市中央学院大学 6号館 5F (658教室)

趣旨説明 加藤賢三 (分科会代表)

講演 「遺跡からみた里山景観」

1. 縄文時代 上守秀明

(財)千葉県文化センター 上席研究員)

2. 弥生～中世 笹生 衛

(千葉県教育庁教育振興部文化財課)

文化財保護室 主任文化財主事)

意見交換 コーディネーター

西野 元 (国土館大学 文学部非常勤講師)



会場写真

野外体験 (予定)

場所 手賀沼および近郊

日時 6月12日(日) 10:00 ~ 15:00 (小雨決行)

備考 我孫子市との共催、水循環分科会との協働



13 .まとめ 遺跡に学ぶこれからの里山のあり方

現状

私たちの暮らしは利便性を追求した結果大きく変わってきた

結論

縄文時代から資源循環型社会が作られている。これをもう一度学ぶ。

課題

利便性のカベをどう乗り越えられるか

